

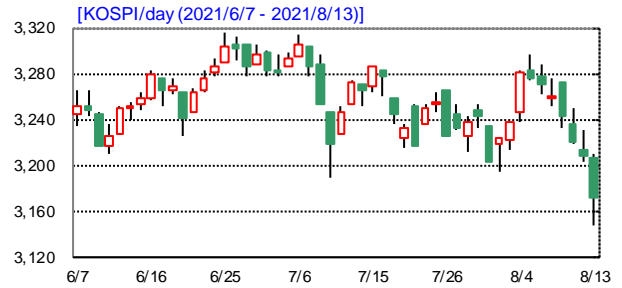


## 【韓国】 総合指数は週間で3.0%安と反落、今週も新型コロナ次第か

### 先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で3.0%安と反落。国内での新型コロナウイルス（デルタ株）の感染拡大に加え、米雇用統計を受けて米連邦準備理事会（FRB）がテーパリングに踏み切るといった懸念が相場の重荷となり、5日から13日まで7営業日続落した。7日続落は2018年9月28日－10月11日（8日続落）以来の続落記録となる。また、週間の下落率としては2月22－26日以来の大きさとなった。半導体価格の下落が嫌気され、米国の半導体関連株安の流れを引き継いだ。海外投資家を中心にサムスン電子やSKハイニックスなどの半導体株が売られ、相場を押し下げた。今週も新型コロナウイルスの感染状況次第か。1日当たりの国内新規感染者数が引き続き注目される。経済指標関連では、20日に7月のPPIが発表される予定。

▼指数チャート

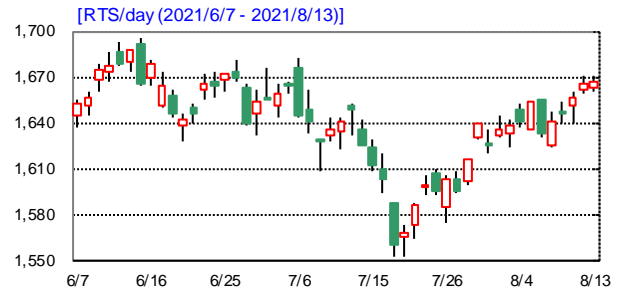


## 【ロシア】 RTS 指数は2.1%高と3週続伸、今週も原油相場を見据えた展開か

### 先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で2.1%高と3週続伸。ルーブル高が追い風となる中、エネルギー株や金融株の上昇が指数を押し上げた。週明け9日は原油相場の下落を受けて一時、前週の安値を下回ったが、終値では反発。10日は原油相場の上昇が好感され、続伸した。その後も対ドルでルーブルが堅調に推移したことを追い風に13日まで5日続伸。RTS 指数は1666.44ドルで終了し、終値で6月28日以来の水準を回復した。ブレント原油相場は週間で0.2%下落し、ルーブルは対米ドルで0.5%上昇した。個別では、エネルギーのノバテック、ガスプロム、ルクオイルがそろって3%超上昇し、金融のズベルバンク・オブ・ロシアは3.0%高。一方、ダイヤモンド採鉱のアルロサが2.7%安、資源のノリリスク・ニッケルが2.6%安だった。

▼指数チャート

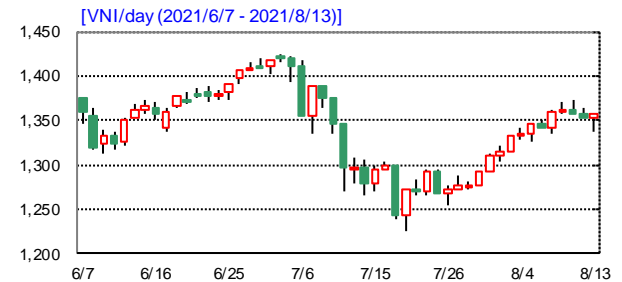


## 【ベトナム】 ベトナム指数は週間で1.2%高と3週続伸、今週も堅調な値動きか

### 先週の動き／今週の展望

VN 指数は1.2%高と3週続伸。主力優良株に資金流入が続き、総じて堅調だった。週明け9日は前週末比1.4%高。取引システムの改良で取引高の増加に対応できるようになったことも株価の押し上げにつながった。指数はコロナワクチン接種の進展期待を背景に10日に続伸。11－12日は続落したものの、13日は小幅に反発した。指数は11日の場中に1374.03ポイントと7月9日以来の高値をつけ、13日は1357.05ポイントで取引を終えた。個別では不動産のビンホームズが5.4%高、ゴム製品のベトナム・ラバーが1.8%高、金融のベトナムバンクが1.5%高となった一方、不動産のノー・バー・ランド・インベストメントが3.7%安、飲料のサイゴンビール・アルコール飲料が2.2%安となった。今週も先高観を背景に堅調か。

▼指数チャート



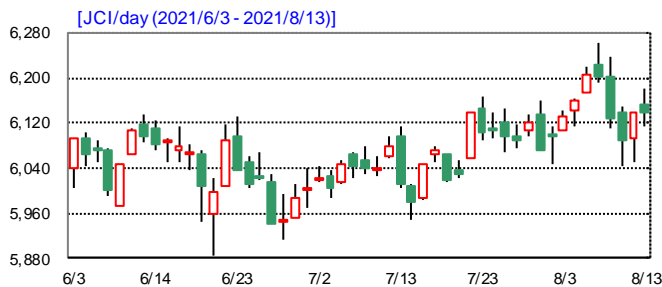


## 【インドネシア】

**【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 1.0%安、今週は 7 月の貿易統計に注目**

ジャカルタ総合指数は 4 日間の取引で 1.0%安と反落。週初の下落が響いた。9 日は前週後半に終値で 6200 ポイントを回復した反動などで売られ、指数は前営業日比 1.2%安と続落。10 日は前日に活動制限の期間延長が発表された影響で売り優勢の展開が続いたが、祝日を挟んだ 12 日は、前日の NY ダウが早期の量的緩和縮小に対する警戒感の後退を受け、連日で過去最高値を更新した流れで 4 営業日ぶりに反発した。13 日は前日からほぼ横ばいで取引を終えている。今週は 16 日の 7 月の貿易統計発表に続き、19 日には中央銀行が定例の金融政策決定会合を開催する予定。17 日は独立記念日のため休場となる。

### ▼指数チャート

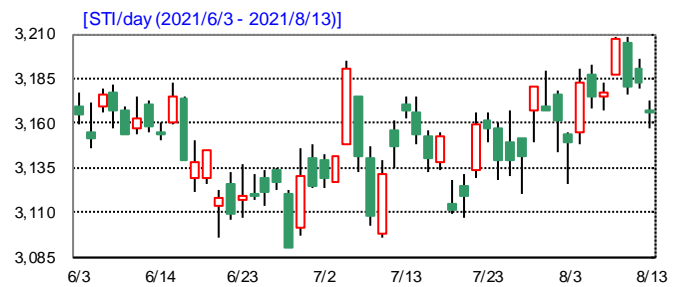


## 【シンガポール】

**【先週の動き／今週の展望】スレーツタイムズ指数は 0.4%安、今週は 7 月の非石油地場輸出に期待**

スレーツタイムズ指数は 4 日間の取引で 0.4%安と 7 週ぶりに反落。週末の下落が痛手だった。連休明けの 10 日は、新型コロナのワクチン接種者を対象とする規制緩和が始まったことが買い材料となり、指数は終値で約 3 カ月ぶりに 3200 ポイント台に到達。一方、11 日は 4-6 月期の GDP 確定値が前年同期比 14.7%増と速報値を 0.4 ポイント上回り、貿易産業省が今年の成長率の見通しをこれまでの 4-6%から 6-7%に上方修正したものの効果は薄く、反落した。週後半は 12 日に小幅反発したが、13 日は中国株の下落に連動し、反落して引けている。今週は 17 日に 7 月の非石油地場輸出が発表される予定。

### ▼指数チャート

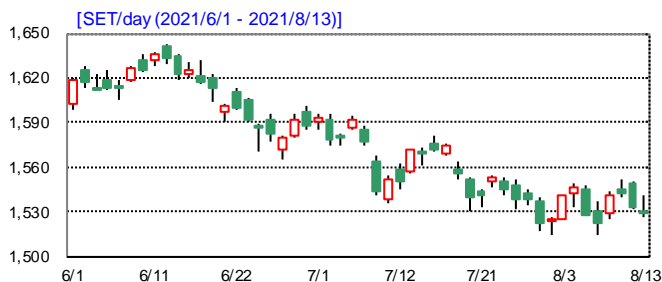


## 【タイ】

**【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 0.4%高、今週は 4-6 月期の GDP に対する市場の反応が焦点**

SET 指数は 4 日間の取引で 0.4%高と 4 週ぶりに反発。週前半の上昇が指数を支えた。週初の 9 日は、国内の新型コロナウイルスの新規感染者数がやや減少したことが好感され、前営業日比 1.2%高と 3 日ぶりに反発。10 日は 4-6 月期の好決算銘柄が買われて続伸したが、11 日は反政府デモの激化が売り材料となり反落した。祝日を挟んだ 13 日は景気の先行き不透明感が広がった影響で売られ、続落して取引を終えている。今週は 16 日発表の 4-6 月期の GDP に対する市場の反応が焦点。外部要因では中国の 7 月の固定資産投資や鉱工業生産のほか、7 月開催の米 FOMC 議事要旨の内容が指数を左右する展開か。

### ▼指数チャート



## 【マレーシア】

**【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 1.0%高、経済指標の堅調な内容を好感**

クアラルンプール総合指数は 4 日間の取引で 1.0%高と 3 週ぶりに反発。経済指標の堅調な内容が好感された。週初の 9 日は、6 月の鉱工業生産が前年同月比 1.4%増と市場予想の 0.3%減から上振れした効果で反発。祝日を挟んだ 11 日は、米議会上院で 1 兆ドル規模のインフラ投資法案が可決されたことを受けて、前日の NY ダウが過去最高値を更新した流れで買い優勢となり、終値で 5 営業日ぶりに 1500 ポイント台に乗せた。12 日は反落したが、13 日は 4-6 月期の GDP が前年同期比 16.1%増と 5 四半期ぶりにプラスに転じたことが買い材料視され、反発している。今週は 1500 ポイント台を維持できるかが焦点。

### ▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。